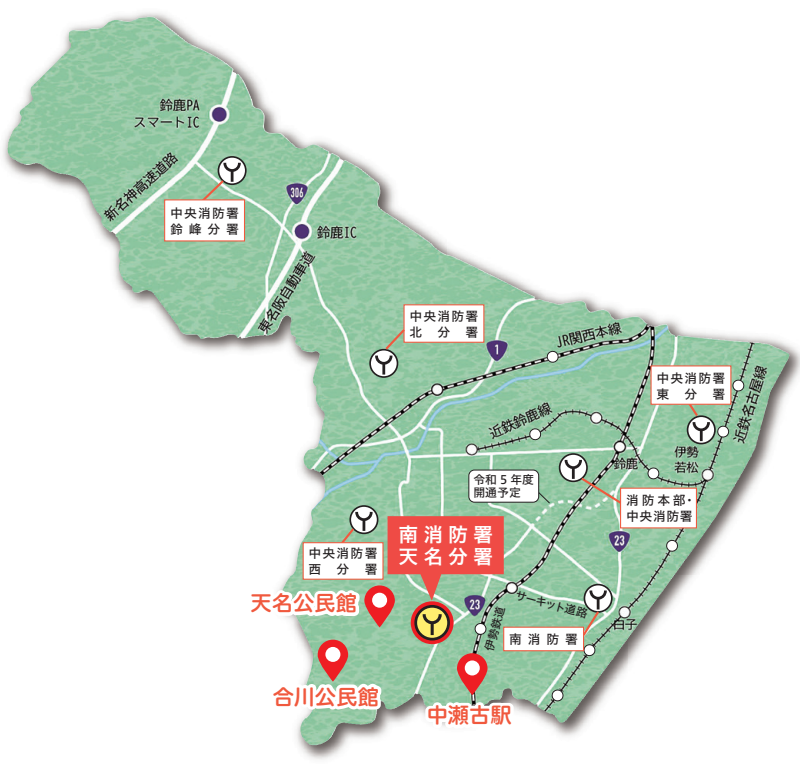
新たな拠点

南消防署天名分署

新たな消防活動拠点として、5月1日(月)から、南消防署天名分署の供用を開始します。

これまで南部地域は、南消防署や中央消防署西分署から距離があり到着時間に課題がありました。また、南消防署は南海トラフ地震の津波浸水予測区域にあり、万一に備えたバックアップ体制が必要でした。

間もなく全線開通を迎える中勢バイパスなどの道路網を有効に利用できる場所に建設される新たな消防分署。現場到着時間の短縮を図ることで、早期の消火活動や応急処置が可能となり、消防力が強化されます。新たな消防分署は、地域の皆さんを守る拠点として機能します。



南消防署天名分署の概要

供用開始	5月1日(月)
所在地	御薗町5309
敷地面積	7,061.26㎡
延床面積	867.89㎡（消防分署：763.89㎡　消防分団施設：104㎡）
構造	鉄骨造平屋建て
管轄区域	天名地区・合川地区の全域、栄地区・稲生地区の一部

現場への到着がスムーズに！

目的地			
中瀬古駅	南消防署から	9分37秒	5分10秒 短縮
	天名分署から	4分27秒	
合川公民館	西分署から	9分58秒	4分39秒 短縮
	天名分署から	5分19秒	
天名公民館	西分署から	10分44秒	9分41秒 短縮
	天名分署から	1分03秒	

これだけ
短縮できます！

配備予定車両

消防ポンプ自動車

高規格救急車

天名分署はこんなところ

新たに誕生する天名分署を紹介します。

新分署のここがすごい！

災害に強い

大規模災害時の防災拠点施設として、高い耐震性があります。地震などの災害発生時でも、機能は損なわれません。

迅速な出動

建物内の動線が工夫されており、火災、救急などの事案発生時に職員がすぐに出動できます。

機能が豊富

訓練施設のほか、ドクターヘリや防災ヘリが使用可能な防災対応場外離着陸場などの機能があります。

消防分団の併設

天名分署は、消防分団の車庫と待機所を併設した消防施設のため、消防職員と消防団員のコミュニケーションの向上が図られます。

＼女性専用設備を完備！／

女性専用の休憩室には、洗面台や浴室があり、セキュリティも万全。私たちも安心して勤務できます！

近くにできて安心

御薗町　伊藤（いとう） 俊輝（としき）さんファミリー

近くに高齢の祖父が住んでいますので、天名分署ができると安心ですね。

子どもたちは、働く車が大好き。間近で消防車や救急車が見られるのを楽しみにしています。

南部地域の住民を守る拠点

救急医療体制や消防体制の充実は、従前から南部地域の課題でした。

天名分署新設は、南部地域に住む私たち市民の財産・命を守ることにつながるため、非常にうれしく思っています。

天名まちづくり協議会
会長 宮﨑（みやざき） 孝教（たかのり）さん

今回の特集に関するご意見・ご感想は
消防総務課 ☎382-9153 FAX383-1447
shobosomu@city.suzuka.lg.jp